

多職種連携研修会について

多職種連携研修会は、【在宅医療・介護連携推進事業】の一環として行っている研修会です。

平成 26 年度より開催しており、**高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしく生活が続けることができるよう**、町内の医療機関・介護事業所の専門職の方々に参加していただき、医療・介護の連携について考えています。

ごしめ〜会とは??

地域住民の方に慣れ親しんでもらえるように、多職種連携研修会に参加している専門職みんなで考えた愛称です。

志免町では、在宅医療・介護連携推進のため「多職種連携研修会」を平成 26 年度から開催していましたが、令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により開催することができませんでした。

令和 3 年度は、感染拡大防止の観点からオンライン形式で開催しましたのでご報告させていただきます。

第 1 回

R3.9.22 (水) ~ R3.9.24 (金)

オンライン上映会

在宅医療に関する映画『ピア〜まちをつなぐもの〜』

参加者の声

多職種連携の大切さを感じ、最後まで自分らしく在宅で生きることを支えていける人間でありたいと思いました。

映画の中の世界！と感じることも多々ありましたが、様々な職種間でそれぞれがお互いにできることを確認することの大切さや、誰のための業務かを忘れないようにする、本人と家族の人生の完成期に関わることの責任を忘れないようにしようと思いました。

在宅療養を支える場面では色々な問題が出てきたりしますが、多職種でのチーム力で問題解決を図る過程が大切だと再認識しました。

オンラインだったので、時間を気にせず、自分のタイミングで自宅に参加できることができ、とても良かったです。

時間に追われ 1 人 1 人の生活や想いに寄り添っているのかいつも自分と格闘しています。作品を見て初心の想いに戻れたような気持ちになりました。



第2回

R3.11.24 (水) 19:00~20:30

ZOOM 研修会



1. 志免町を知ろう！

- ・これまでの「志免町多職種連携研修会」の振り返り
- ・志免町の人口推移や高齢化率、地域差について

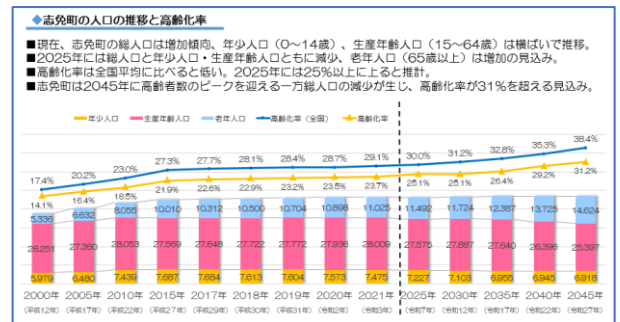
2. 町民の気持ちを知らう！

- ・志免町在住・在勤の方 209 名を対象に行った「在宅医療・介護」についてのアンケート結果報告

3. 在宅看取りの経験談を聞いてみよう！

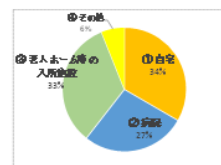
- ・家族の看取りを行った住民の方にインタビューを実施。当時の思いや今感じることをお伺いしました。

●参加者配布資料（使用スライド）の一部。

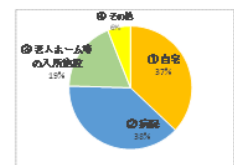


Q1 自分が介護が必要な状態になったとき...

どこで生活したいですか？



どこで最期を迎えたいですか？



今回不参加だった方も、もし資料がご入用でしたら、志免包括までご連絡ください。

参加者の声

会議の名称通り、志免町で医療介護に携わる様々な職種が参加されており、今後の志免町の連携の形がしっかり形作られていっているのだと認識できました。

ケアマネジャー

他の職種の方と会う機会は少ないので、こういった研修を通して顔の見える関係を作っていけると、今後連携がとりやすくなると思います。今はオンラインで画面を通してですが、実際に集まれるようになるとより良いと感じます。

保健師

最近志免町で働き始めたので、志免町の人口推移や高齢化率などわかりやすく知ることができてよかったです。

理学療法士

専門職が当たり前に使っている言葉や知識を家族にわかりやすく伝え、お互いの認識のズレや情報量の差を少なくしていくことが大切だと感じました。

社会福祉士

実際に看取りをされた方のインタビューはそれぞれの家庭の背景や本人・家族の各々の想いもあり、現在、現場で看取りのケースも多くなっているので参考になりました。

看護師

ZOOMでの研修会は初めての試みとなりましたが、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、施設職員、社会福祉士など様々な職種の方々にご参加いただき、貴重な意見をいただくことができました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。

令和4年度の研修会の開催時期や開催方法につきましては、新型コロナウイルスの感染状況をみながら計画していきます。開催が決まりましたらご案内させていただきますので、その際はご参加のほどよろしくお願いいたします。